お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

■ 柳師ご夫妻は、教団の会議および諸行事に出席するため、7月14日(日)～8月1日(木)まで韓国に行かれます。この期間中の主日礼拝メッセージはZoomを通して配信されますので、皆さまの祈りとご理解をお願いいたします。

■ 今日は午餐会の後聖霊充満祈祷会があります。

■ 夕方礼拝の後、教会周りの草取りをします。草取りは暑い時間をさけて短時間で済ませたいと思いますので、ご協力をお願いします。

■ 聖徒、柳瀬姉妹が主の御許へと召されました。
地上での歩みを終え、天にある永遠の安息に入られましたことをご報告いたします。葬儀は、7月11日(木)午後1時より、執り行われ、教会より女性宣教会の役員が参列してまいりました。ご遺族の上に主の慰めと平安がありますよう、お祈りください。

■ 三分ブリッジ伝道法を共に学びましょう！
教会では、誰でも簡単に福音を伝えることができる「三分ブリッジ伝道法(3-Minute Bridge)」を、教会全体で覚えて実践していくことを目指しています。

聖徒の為に祈りましょう。

・コロナとインフルエンザから守られますように。
・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
・YouTubeライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)

「イエスのことを考えなさい」　ヘブル3章1～3節

1 ですから、天の召しにあずかっている聖なる兄弟たち。私たちが告白する、使徒であり大祭司であるイエスのことを考えなさい。
2 モーセが神の家全体の中で忠実であったのと同様に、イエスはご自分を立てた方に対して忠実でした。
3 家よりも、家を建てる人が大いなる栄誉を持つのと同じように、イエスはモーセよりも大いなる栄光を受けるにふさわしいとされました。

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 柳澄香(賛美リーダ) 北原明子(祈祷)
夕方賛美礼拝 柳澄香(賛美リーダ) 北原孝子(祈祷)
水曜礼拝 韓芽唯(司会) 北原孝子(祈祷)

礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校（小学生まで）	AM 9:50～10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈祷会．火・木曜日	PM 8:30～9:30
土曜日	PM 8:00～9:00

週報 2025-28号　　2025.7.13

神の国とその義を
第一に求める
宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会

395-0807 飯田市鼎切石 3883-4
TEL 0265-56-8286
www.iidahc.com

牧　師　柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)
副牧師　柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝　　AM 11:00～

賛美リード　　韓芽唯

信仰告白　　（使徒信条）

代表祈祷　　鈴木真由美

特別賛美　　インマヌエル聖歌隊

お知らせ

聖書個所　　ヘブル 3:1-3

（イエスのことを考えなさい）

メッセージ　　柳承吉牧師

賛　美　　神の家族

祝　祷　　柳承吉牧師

夕方賛美礼拝　　PM 2:20～

賛美リード　　韓芽唯

代表祈祷　　松島スヤンティ

聖書個所　　ヨハネの福音書 1:1

メッセージ　　柳承吉牧師

(言葉の力 2)

主の祈り

水曜礼拝　　PM 7:00～

司　会　　松島スヤンティ

代表祈祷　　松島浩一

聖書個所　　証しメッセージ

メッセージ　　柳澄香

今週の御言葉

「イエスのことを考えなさい」 ヘブル 3 章 1～3 節

今日のみことばから、私たちがどのような存在であるか、イエス様がどなたであるか、そして私たちの生き方とは何か、この 3 つの霊的教訓を共に受け取りましょう。

私たちは誰なのか―「天の召しにあずかる者」

ヘブル 3:1 は「天の召しにあずかっている聖なる兄弟たち。」私たちは、イエス様を信じて神の子とされた者です。そして一人ではなく、**「共に」**天の召しにあずかった兄弟姉妹たちとともに歩む者です。この「共に」という言葉は、私たちの信仰は個人的な救いで終わるのではなく、信仰共同体としての教会へと招かれるのです。この教会は、主ご自身が建てられた共同体であり、どんなにサタンが攻撃しても決して倒れることはありません（マタイ 16:18）。しかし、敵は内側から教会を壊そうとします。争いや妬み、分裂を起こさせようとします。だからこそ、私たちは御霊によって一つとされることを熱心に保たなければなりません（エペソ 4:3）。私たちは、神の永遠の計画の中で選ばれ、召され、教会の一部とされました。この召しにふさわしく歩むために、地のものではなく、上にあるものを思い、心を天に向けるべきです（コロサイ 3:2）。

また私たちは、「聖なる兄弟」と呼ばれています。聖なる者としての歩みとは、世の罪や憎しみから分離され、神の御心に従って生きる人生です。「すべての行いにおいて聖なる者となりなさい」（Ⅰペテロ 1:15）。聖さの道には真の喜びと命がありこの道を選ぶ者こそ、世の小さな楽しみを捨てて、永遠の大いなる喜びを得る者なのです。

イエス様はどなたか―「使徒であり大祭司」

ヘブル 3:1 に続けて「私たちが告白する、使徒であり大祭司であるイエスのことを考えなさい。」まず、イエス様は**「使徒」**であると書かれています。それは、神のご計画（人類の救い）を成し遂げるため、父なる神からこの世に遣わされたという意味です（ヨハネ 3:17）。また、イエス様は**「信仰の創始者であり完成者」**（ヘブル 12:2）です。私たちの信仰のすべては、イエス様から始まり、イエス様によって完成します。さらに、イエス様は**「大祭司」**でもあります。私たちの罪を背負い、ご自身がいけにえとなってくださり、十字架で完全な贖いを成し遂げられました（ヘブル 2:17）。このイエス様を信じるなら、私たちは一度きりで永遠に罪赦されるのです（ヘブル 10:10）。

私たちの生き方―「イエスを深く考える者に」

ヘブル 3:1 は私たちにこう呼びかけます。「イエスのことを考えなさい。」これはただイエス様について「知る」ということではありません。思いをイエス様に集中し、イエス様の御性質、十字架の愛、謙遜と従順を黙想するということです。けれども多くの信仰者が、救われたにもかかわらず、なおこの世の欲や自分中心の思いにとらわれています。しかしガラテヤ 5:24 は語ります。「キリスト・イエスに属する者は、肉とともにその情と欲とを十字架につけたのです。」私たちは自己中心を捨て、イエス中心、教会中心の思いを持たねばなりません。そして、イエス様を知ることを人生最高の価値とする者になりましょう（ピリピ 3:7-9）。

ヘブル 3:14 はこう語ります。「私たちは、初めの確信を最後までしっかり保つなら、キリストにあずかる者となるのです。」